令和３年度「知事と市町長の１対１対談」（紀宝町）概要

１　対談市町　　紀宝町（西田（にしだ）　健（けん）　紀宝町長）

２　対談日時　　令和３年７月２日（金）１５：００～１６：００

３　対談場所　　紀宝町役場　２階　大会議室

４　対談項目１　新宮紀宝道路の早期完成～高規格幹線道路網の整備促進及び鵜殿港海岸災害復旧工事、新宮川水系河川整備基本方針の改定について

　　対談項目２　浅里地区地滑り対策について

　　対談項目３　新型コロナウイルスワクチン接種について

５　対談概要

対談項目１　新宮紀宝道路の早期完成～高規格幹線道路網の整備促進及び鵜殿港海岸災害復旧工事、新宮川水系河川整備基本方針の改定について

（町長）

【新宮紀宝道路の早期完成～高規格幹線道路網の整備促進】

熊野川河口大橋を含む新宮紀宝道路につきまして、三重県近畿道紀勢線推進プロジェクトチームの誠実かつ丁寧な補償交渉いただきまして、令和３（2021）６月 25 日現在、筆数といたしまして、248 筆中 244 筆の用地を取得していただきました。

工事進捗状況といたしましては、新宮紀宝道路、熊野川河口大橋橋脚６基の下部工事が完成しておりまして、上部工事についても、着実に工事を進めていただいております。また他の工事につきましても、着実に進められているというように伺っております。

令和３（2021）年４月に国土交通省が令和６（2024）年秋に開通する見通しとの発表がありました。残る紀宝熊野道路につきましても、早期工事着手し、一日も早く、紀勢線が全線開通するよう、高規格道路の幹線網の整備促進を重ねてお願い申し上げます。

【鵜殿港海岸災害復旧工事】

鵜殿港海岸の東防波堤、南防潮堤の災害復旧事業につきまして、鋭意、復旧作業を進めていただいておりまして感謝申しあげます。東防波堤、南防潮堤につきましては、背後に製紙工場、船着場を有しており、地域にとって重要な施設でございます。１日も早く完成するように要望します。

【新宮川水系河川整備基本方針の改定】
　熊野川流域の治水対策つきまして、ご支援、ご協力をいただいておりまして、感謝申し上げます。現在、国において、新宮川水系河川整備基本方針の改定が進められております。県のお力添えをいただきようやく進められました。近年の気候変動の影響による降雨量の増加、水災害の激甚化・頻発化に伴い、河川流域全体のあらゆる関係者が共同して、流域全体で行う持続可能な治水対策、いわゆる流域治水への転換が求められています。また、現在、実施していただいております河床掘削だけでなく、総合的な洪水軽減対策にご支援、ご協力お願い申し上げます。

（知事）
【新宮紀宝道路の早期完成～高規格幹線道路網の整備促進】
　紀伊半島大水害から 10 年を迎えた令和３（2021）年に新宮紀宝道路が、令和６（2024）年秋ごろに完成すると発表になったことは感慨深いです。西田町長をはじめ、地域の皆さんが長年にわたり要望をして思いを伝えたことが結実したと思っております。感謝申し上げご努力に心から敬意を表する次第です。防災対策の肝となるのは近畿自動車道紀勢線だと思いますので、早期全線整備に向けて、引き続き西田町長はじめ、地元の皆さんとしっかりと取り組んでいきたいと思っております。
　新宮紀宝道路の整備進捗状況を改めて申し上げますと、予算は令和２（2021）年度の補正予算で新宮紀宝道路の三重県側で 15 億円、令和３（2021）年度 45.5 億円、計 60.5 億円の予算が計上され、熊野川河口大橋の工事は着実に進められております。熊野川河口大橋のほかに、ＪＲ高架橋インターチェンジ橋梁など、新宮紀宝道路の各所において工事が全面展開されております。これは、防災・減災、国土強靭化のための５ヵ年計画にミッシングリンク解消対策が含められたため、予算がつきやすくなり令和６（2024）年秋に開通できることになったと思っております。紀宝熊野道路の方は、令和２（2020）年度から用地買収の予算が計上されて、用地取得、事業調整を行った結果、約６億円の用地買収に関する契約の締結を行うことができました。プロジェクトチームに紀宝町の職員も派遣をいただき、お礼申し上げます。引き続き、用地取得を進めて、早期工事着手につなげていきたいといと思っております。国に要望するときには、論理的に必要性を伝えることに加え、地域の運動の熱量が必要です。令和２（2020）年 10 月、西田町長には鳩山国土交通大臣政務官のところに一緒に行っていただき、紀伊半島大水害の時、国道 42 号が止まった状況をお話され、高速道路が必要だということを一生懸命言っていただき政務官も興味深く耳を傾けておられました。これからもこの論理的必要性と運動量の掛け算で早めていきたいところですの

で、引き続きよろしくお願いしたいと思います。また県全体としましては町村会長でいらっしゃいますので、いろんな国の大会でお声がけお願いしたいところです。

【鵜殿港海岸災害復旧工事】

鵜殿港は北越紀州製紙或いは漁業者にとって大変重要な港であり、安全安心であるということが重要になります。現在、災害復旧工事はケーソンの代替機能としての消波ブロック設置を進めていて、東防波堤の方は約 48%の進捗となっています。南防潮堤の方は、令和２（2020）年３月、災害復旧工事に着手して、現在約 60%の進捗となっています。東防波堤の方については、令和３（2021）年度、港内側の消波ブロックの設置を完了させるとともに、港外側の消波ブロック設置も同時に進め、計画を１年前倒して、令和４（2022）年度中の完成をめざして工事を進めます。南防潮堤については、令和４（2022）年５月を完成予定とし、工事を進めたいと考えております。

【新宮川水系河川整備基本方針の改定】

流域治水は、気候変動をふまえた水災害対策検討小委員会に知事として唯一参加した、非常に思い入れがあるものであります。その結果、令和３（2021）年３月に、新宮川水系の流域治水プロジェクトが策定されたということで、しっかり推進していきたいと思っております。

新宮川水系の河川整備基本方針の改定については、全国で初めて気候変動による影響を反映させるとともに紀伊半島大水害の実績洪水などを考慮した計画になります。今後、防災部門は大変重要ですから、この基本方針の改定に向けて、国との交渉をしっかりやりたいと思います。

対談項目２　　浅里地区地滑り対策について

（町長）

知事、副知事におかれましては、発災後、大変気にかけていただきまして、現地視察を含め、地下水の排水・排除対策、斜面の侵食防止工事、土砂撤去及び土留め工事など迅速に応急対策工事を進めていただき本当にありがとうございました。

令和３（2021）年度につきましては、本格的な対策として、６月に斜面のボルト工事、周波式ボーリング工事、コンクリート擁壁工事にも着手していただいております。また通行が困難となっておりました県道小船紀宝線の代替道路となる迂回路の整備につきましても、令和３（2021）年の夏頃の完成に向けて事業を

進めていただいていることに感謝を申し上げます。
　浅里地区は住民こそ少ないものの名瀑の飛雪の滝周辺にキャンプ場を整備しておりまして、近年のアウトドアブームもあって、新型コロナウイルス感染症発生前の、令和元（2019）年度では、宿泊と日帰り客で約１万4000人の集客は当町を代表する観光拠点の一つとなっておりました。
　住民の暮らしを守り、また観光客が安心して、当地域を訪れていただけるよう、町といたしましても、県と一体となって取り組んでいけるよう努めて参りますので、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

（知事）
　地すべり対策は、専門家の意見をふまえた応急対策は、令和２（2020）年７月から応急対策として、地すべり抑えるための集排水ボーリング17本を緊急に実施したほか、山腹崩壊が発生した令和２（2020）年10月以降土砂の林道・県道上に堆積した土砂等の撤去、崩壊斜面の雨水等による侵食を防止するための斜面侵食防止工、大型土嚢による土砂止め工、落石対策として矢板工、斜面上部からの地下水を強制的に排除するディープウェル工を実施し、土砂の流出を防止する対策を行ってきました。
　これらの応急対策の実施以降は大きな地形の変位は認められておらず、地下水上昇の抑制効果が一定見られていると思っております。倒木等の伐採除去を斜面の上から順次実施しており、令和３（2021）年の11月末ごろには応急対策を終了したいと思っております。それから、地すべり区域の上の方に重要な水道施設がありますので、法面保護工や集排水ボーリングなどの恒久対策を令和３（2021）年６月18日から、先行着手したところです。
　今後は、雨の時期の観測データを一定期間収集し、地すべり面を確定する調査を行った後、地滑り区域全体の恒久対策工を決定し、令和３年10月末ごろから工事に着手することとしています。地滑り区域全体の復旧対策の完了時期は、対策方法が決定する７月下旬頃に区域全体の復旧対策の完了をお示しできると思っております。
　引き続き紀宝町と緊密に連携して円滑に工事を進めて、１日も早く、地域の皆さんが元通りの生活を取り戻すことができるようにしっかり取り組んで参ります。
　迂回路については、令和２（2020）年12月に幅員を2.5ｍから５ｍ～6.5ｍに広げる工事に着手をして、車両の通行を確保しながら着実に工事を進め、夏休み前の令和３（2021）年７月９日に完成をします。

対談項目３　新型コロナウイルスワクチン接種について

（町長）

三重県におきましては新型コロナウイルスの感染防止対策として、住民の皆様へのワクチン接種の円滑な実施を図るために、医療従事者への接種を初め、接種に関する相談窓口の設置や、医療従事者の特にこの派遣調整を行っていただいたところでございます。また、三重県内の３ヶ所において、大規模接種実施など、さまざまな取組を行っていただきました。改めて感謝を申し上げたいと思います。本町におきましては、地域の医療関係者の協力をいただいて、ワクチン供給量を勘案しながら、順次接種を進めているところであり、少しでも早く多くの住民の皆様に接種し、不安を解消していただけるよう、さらに接種を加速させたいところでございます。

ワクチンの接種を進めるに当たりまして、接種にご協力をいただいている医療機関では、個別接種や高齢者施設への訪問接種により、通常の診療に影響ができております。医療関係者の皆様方にはご努力をいただいておりまして、大変感謝をしているところでございます。

また市町が実施する集団接種への協力なども、特に医療機関が少ない本地域の開業医の先生方には休日を返上してご協力をいただいており個々の負担も増えてきているところでございます。先般三重県におきましても、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用した医療関係に対する追加策として、医療従事者を派遣する医療機関への補助や個別接種を行う医療機関への、補助を創設していただいたところでございますが、条件の緩和や支援制度の拡充など、地域の医療機関へのさらなる支援が、住民の皆様への円滑なワクチン接種に繋がると考えますので、ご検討いただければと思います。

（知事）

ワクチン接種については、各市町、医療関係者の皆様が一生懸命頑張っていただき、高齢者の接種済みの割合が 1 回目 66.9％、2 回目 34％です。７月末までに完了させる高齢者接種については、必要なワクチンの量を確保してあります。

今後のワクチンの確保については、まだ不透明なところがあるのでしっかり対応していくということが、重要であると思っています。一般住民の方への集団接種については、三重大学と四日市大学と伊勢の県営サンアリーナの状況を検証した上で紀宝町の皆さんと相談しながら進め、考えていきたいと思っています。紀宝町からご要望もいただいた医師派遣を、紀宝町を含めた６市町にさせていただきました。引き続き、円滑な接種に向けて、しっかり取り組んでいきたいと思っています。

接種にご協力いただく医療従事者に向けては休日や時間外などの単価も上げ

ており、引き続き、医療従事者の皆さんが、ワクチン接種に関わっていただけるような財政的なものも含めた支援の充実をしっかり行っていきたいと思っています。

毎週、市町のワクチン担当課長の皆さんと、オンライン会議を行っていますので、引き続き、医療機関のこと、町への支援等を含め、リアルタイムでご相談を伺った上で、支援について検討していきたいと思います。

職域接種については、しっかり地方の声を伝え、ワクチンの確保を継続できるようにしっかり取り組んでいきたいと思います。